

## 看護職に必要なポリファーマシーの知識と看護職の役割

- 1 ねらい
- ・ポリファーマシーのリスクを理解し、安全な薬物療法を支援できる
  - ・看護職としての“気づき”を高め、医師・薬剤師との連携を強化する
  - ・患者、家族への服薬支援スキルを高める
- 2 主催 後期高齢者医療広域連合・公益社団法人富山県看護協会
- 3 日時 令8年12月21日(月) 13:30～16:30  
※受付は開始30分前から行います
- 4 会場 富山県看護研修センター
- 5 講師 公益社団法人 富山県薬剤師会 専務理事 今村 理佐  
独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院 薬剤部部長 稲村 勝志
- 6 対象者 県内の看護職
- 7 受講料 無料
- 8 定員 50人
- 9 プログラム

時間	内容	講師
13:30～16:30	開催のあいさつ 講師の紹介 ・ポリファーマシーの基礎知識 ・看護師が知っておくべき薬剤アデヒアランスへの支援 ・服薬状況のアセスメント方法 ・多職種連携の実践 ・減薬（デプレスクライビング）の考え方 ・患者、家族への支援スキル ・グループワーク（発表、講師からの助言） 質疑応答 終了のあいさつ アンケート回答	今村 理佐 稲村 勝志